

平成 20 年度第 5 回清水町行政改革推進委員会記録（第 29 回）  
（要点筆記）

日 時 平成 21 年 1 月 26 日（月）午前 10 時から  
場 所 清水町役場 3 階 大会議室  
出席者 委員長外 7 人  
事務局（企画財政課）石田、駿藤、野田、木村

※ 委員長あいさつ

※ 第 4 回の会議録の確認

最終ページの土地開発基金により取得した財産について、次のように訂正。  
「土地開発基金で購入した当時は 4 億 3 千万円位だったが、現在の価値は 1 億円程度下がって、3 億 3 千万円位である。」

※ 配布資料確認

※ 議題

1. 提言について

（事務局より説明）

- ・ 今まで、委員会内や提言書として出された意見の中で、回答済みのものを除き、ひとつにまとめ、たたき台を作成した。（資料 1）
- ・ 全部で 9 項目の提言内容となっているので、審議していただき、委員会の提言として採用するかを決定していただきたい。

(1) 「補助金・助成金の見直し」について（資料 2）

事務局より、現在の交付団体・金額・開始年度・補助率等を提示。

H 2 1 は、区公民館の改修補助＋国民文化祭の補助がありますので、全体は増える見込みですが、実質は毎年削減がされている。

（意見）

- ・ 何に使われているのか、追跡調査する必要がある。  
→ 提言説明文に盛り込みます。
- ・ 必要があるので、提言すべきものである。
- ・ 補助金改革も解るが、職員の人件費を削減するほうが、額的にも効果があることを、理解する必要がある。

(2) 「民間活動団体のネットワーク化」について

（意見）

- ・ 役場が把握している団体等の一覧がほしい。
- ・ 提案理由を考え、提言する。

(3) 「各種委員会の見直し」について

委員は年々増える傾向になっている。

（意見）

- ・ 類似団体は廃止すべきであり、審議回数や内容を確認すべき。
- ・ 議員定数等考えるべきでは。

(4)「普通財産の売り払い」について

一斉に売り払うことは不可能であるが、順次進める。  
活用面を含め、残すものもある。

(意見)

- ・ 昔の2分団跡地は、何に使っているのか。  
→勤労者福祉協議会に無償貸付している。
- ・ 提言すべき。

(5)「敬老会のあり方」について

実施計画上で、改革にあたっている。当面は現状維持の方向。

(意見)

- ・ 現状の方法を維持するのであれば、参加率26%でいいのか。
- ・ 区の負担等を考えると、改善すべき。
- ・ アンケート結果はどうだったのか。
- ・ 結論はだせなくても、取り組まなければならないのでは。
- ・ 委員会としては提言する。

(6)「30人学級制の導入」について

現在の1クラスあたり平均を提示。南小学校の一部に40人を超すクラスがあるが、ほぼ35人以下になっている。空き教室もないのが現状。

(意見)

- ・ 補助員を充てるなど、対応をしているみたいだが、成果が今ひとつでは。
- ・ 現状と学力の関連性を考えて、改善すべきところもあるのでは。
- ・ 30人に近いので、提言内容としては、学力の向上などに視点を変えてみては。
- ・ 問題が大きく全国的な規模での要望になってしまうのでは。
- ・ 教育基本計画の策定を望む。

(7)「保育所待機児童の解消」について

・ 待機児童が多かった時代にしいの木ができたが、ひとつ建てたから良いのではなく、予備軍もあるので、女性の働く場の機会の創出等の対応する策を検討してほしい。

(8)「町民体育大会」について

- ・ 毎回、反省点もあり、サントムーンから苦情もあるので、提言すべき。
- ・ 地域の社会人
- ・ 費用はどのくらい掛かっているのか  
→220万位です。

(9)「無料公共施設及び新施設の使用料の設定」について

- ・ そのまま提言すべき。

※ 次回開催スケジュール

3月17日(火)を予定する。